

令和3年度事務事業実績評価表

1 事業概要

事務事業名		森林づくり推進事業		課名	林務課	事業No.	173
				会計	一般会計		
				事業区分	政策	実施区分	継続
				開始	H16	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画		1	稼ぎ、安心して働ける「魅力ある産業」をつくる			
		地域経済活性化プログラム					
		飯田市森林整備計画					
	分野別計画	21世紀環境プラン					
森林法							
法令・例規等							
事業目的		対象	民有林及び市有林 森林所有者及び市民				
		意図	多面的機能を発揮できる森林の育成と健全な森林としての保全管理 森林ボランティア等の新たな担い手の確保				

2 事業内容

3年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)			
	<p>森林の持つ多面的機能（水源の涵養、土砂流出の防備、保健休養等の役割）を発揮させるため、森林整備を行った市内の民有林（国有林を除く森林）を対象に、補助金を交付しました。</p> <p>豊川水源基金による整備や分収造林契約に基づく整備を行いました。</p> <p>いいだ森林学校の各種講座の開催により、森林関係者等の技術力の向上や、林業体験や竹木を使ったものづくり体験を通じて森林に興味を持ってもらおう機会にすることができました。</p>	森林造成事業に対する補助						1,598		
間伐促進対策事業に対する補助						12,932				
里山整備、緩衝帯整備、森林学校の運営						10,907				
豊川水源林の整備						1,637				
分収林の整備						8,168				
林地台帳保守・森林所有者情報更新						550				
		その他の経費				0				
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	間伐面積	ha	230	190						
	搬出間伐面積	ha	60	40						
	間伐を除く森林整備面積	ha	20	20						
	豊川水源基金助成金の森林整備面積	ha	5	5						
	分収造林契約地の森林整備面積	ha	22	22						
3年度決算(千円)	予算額		38,705		特定財源内訳及び補正事項					
	決算額		35,792		(県) 森林づくり推進支援金 3,563千円					
	財源の状況	国庫支出金	0		(そ) 水源林対策事業助成金（豊川水源基金） 1,000千円					
		県支出金	9,585		(そ) 分収造林受託事業収入 8,168千円					
		地方債	0		(そ) 森林経営管理基金繰入金 2,026千円					
		その他	11,194		(県) 河畔林整備事業補助金 5,670千円					
一般財源		15,013		(県) みんなで支える里山整備事業交付金 352千円 3→4 繰越明許費 1,338千円						

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	2	11	1	14,791	14,530	森林造成事業費
2	1	6	2	2	11	6	13,064	10,907	森林づくり推進支援事業費
3	1	6	2	2	28	3	1,637	1,637	水源林対策事業費
4	1	6	2	2	29	3	8,168	8,168	分収造林事業費
5	1	6	2	2	12	2	1,045	550	集約化支援対策事業費
6									
7									
振返り課題認識		<p>林業従事者数の減少や、森林所有者の意欲低下による山林放棄等が課題となっています。</p> <p>森林に対する市民の関心を高め、森林整備から森林の活用に推進していく必要があります。</p> <p>また、搬出間伐時に多く発生する未利用材（林地残材）の搬出を支援する取組を始めましたが、引き続き木材のカスケード利用を促進し、森林資源の循環利用を図る必要があります。</p>							
上記の課題解決のための有効策		<p>森林整備のための森林経営計画促進のため、森林所有者情報の整備を進めます。</p> <p>森林経営管理制度に基づく意向調査を進め、森林所有者の意識啓発を行うとともに森林整備へ繋がります。</p> <p>搬出間伐時に発生する未利用材（林地残材）の搬出を支援し、木材のカスケード利用を促進します。</p>							
次年度に向けての取り組み		<p>引き続き森林整備を行うための補助金を交付するほか、森林経営管理制度意向調査を順次進め、早期整備を促進します。</p> <p>また市有林を健全な森林として保全していくため、豊川水源基金による整備を行います。森林関係者等の技術力の向上や森林ボランティアの養成など、担い手を育成するため、いいだ森林学校の講座実施や、その他育成の仕組みを研究します。</p>							